

提供日 2018/9/27
 タイトル 生産・出荷ともに対前月比で低下
 静岡県鉱工業指数(平成30年7月分速報)
 担当 経営管理部 ICT推進局統計調査課
 連絡先 商工班
 TEL 054-221-2240

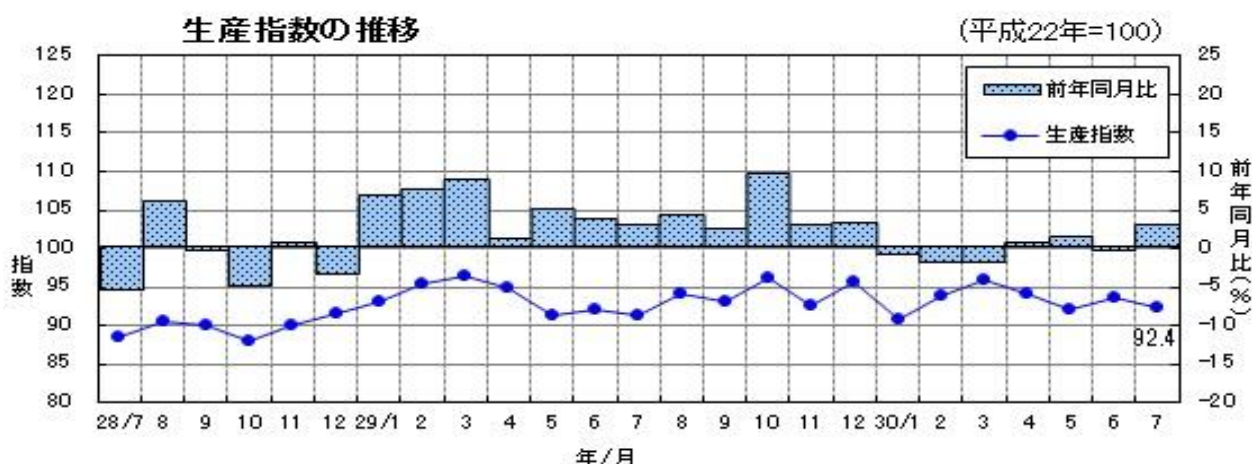


1 生産指数の動き

平成30年7月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成22年=100)は**92.4**となり、前月比は**1.2%減**と2か月ぶりに低下した。

また、**前年同月比(原指数)**は**3.0%増**と2か月ぶりに前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、電気機械、電子部品・デバイス、繊維等が上昇する一方、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械、その他製品等が低下した。

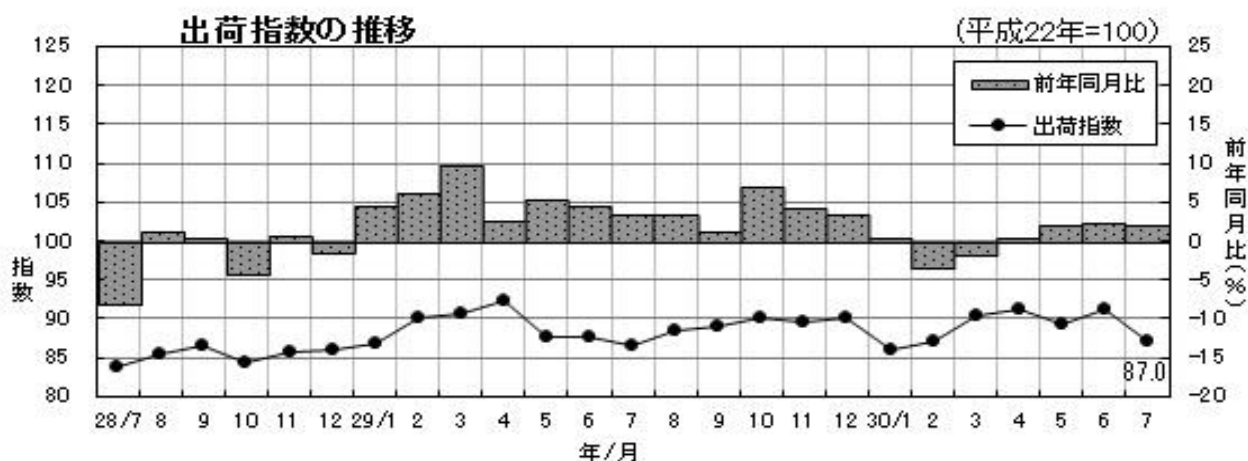


2 出荷指数の動き

平成30年7月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成22年=100)は**87.0**となり、前月比は**4.5%減**と2か月ぶりに低下した。

また、**前年同月比(原指数)**は**2.0%増**と4か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、電子部品・デバイス、窯業・土石製品、家具等が上昇する一方、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械、食料品・たばこ等が低下した。

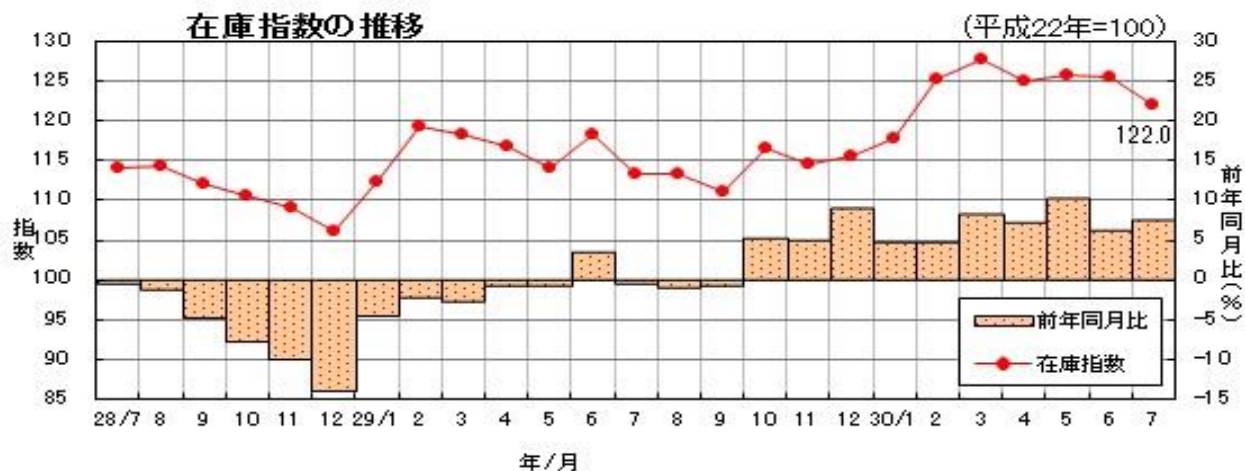


3 在庫指数の動き

平成30年7月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成22年=100)は122.0となり、前月比は2.8%減と2か月連続して低下した。

また、前年同月比(原指数)は7.5%増と10か月連続して前年を上回った。

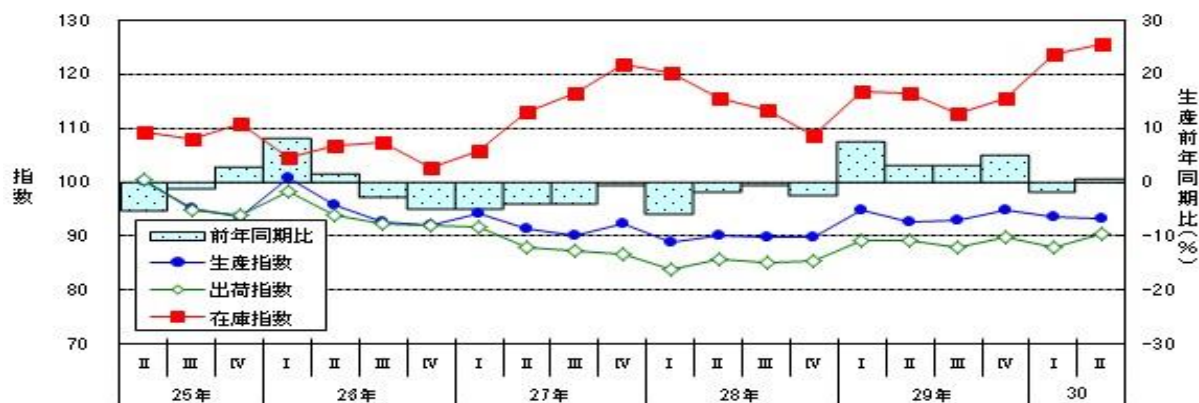
業種別の前月比(季節調整済指数)では、窯業・土石製品、化学、はん用・生産用・業務用機械等が上昇する一方、輸送機械、食料品・たばこ、金属製品等が低下した。



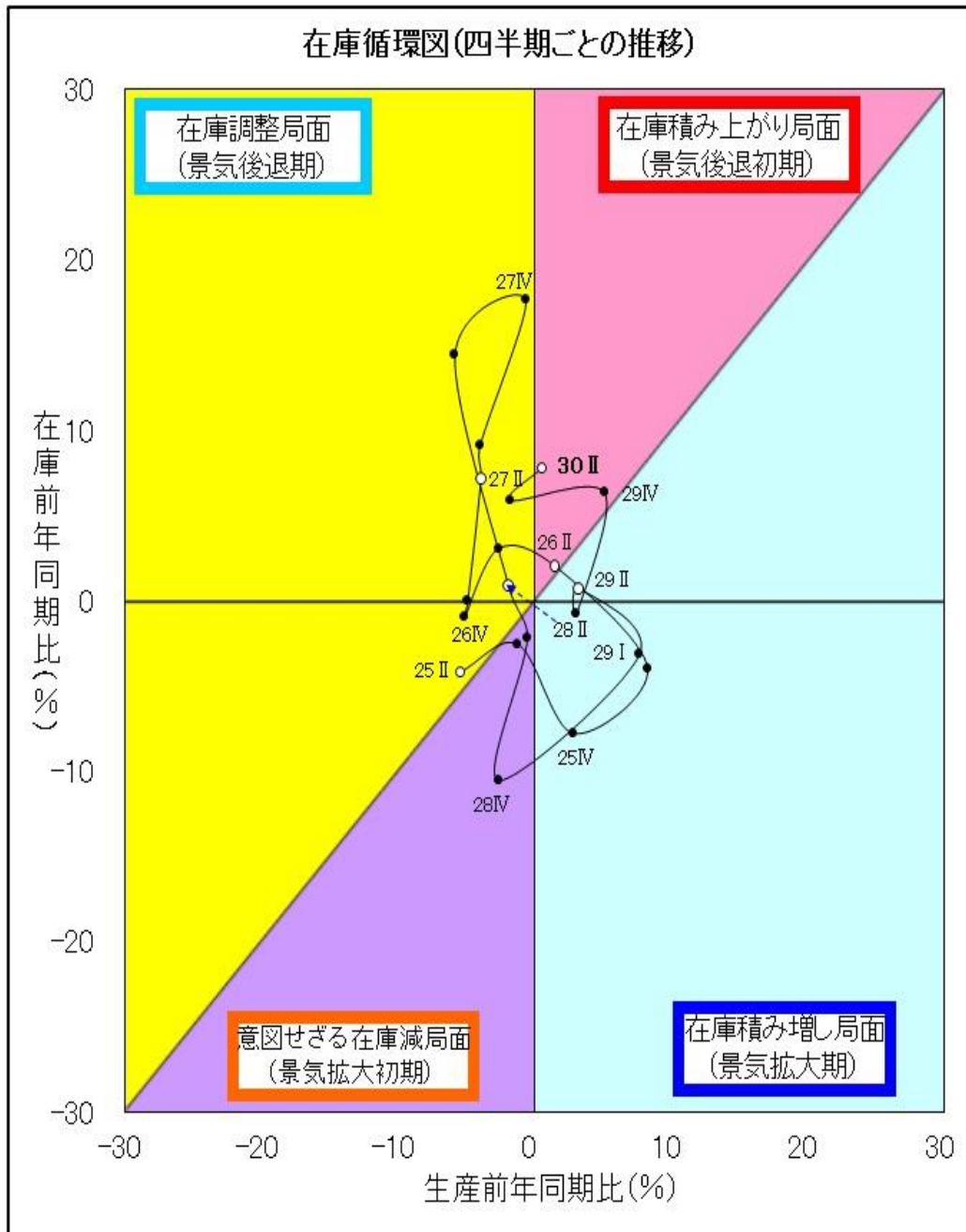
<参考> 四半期推移及び在庫循環図

鉱工業指数の四半期推移

(平成22年=100)



在庫循環



- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ・ **在庫調整局面 (景気後退期)**
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。